

高崎市立南陽台小学校

学校の取り組み

南陽台小学校は、高崎市の南西部に位置し、豊かな自然の中にある学校で、全校児童は104名の小規模校です。南陽台小学校の環境活動は、主に環境美化活動とリサイクル活動です。

1 環境美化活動 ○花いっぱい運動

環境委員が、毎日交代で花壇の水やりを行っています。年間を通して、様々な花たちが花壇を彩っています。

各学年でも草花を育てたり、野菜づくりを行ったりして緑

化運動に取り組んでいます。1年生はアサガオ、2年生はミニトマト・ナス・キュウリ・ピーマン・オクラなどの野菜、3年生はヒマワリとホウセンカ、4年生はヘチマを育てました。また、環境委員会ではマリーゴールドやビオラを世話しています。自分たちで育てた花々は、児童の学校生活に潤いを与えるとともに、学校を訪れる保護者の方やお客様を温かくお迎えすることに役立っています。



○緑のカーテンとよしず

夏の暑さ対策として、校舎前でヘチマ、朝顔等の植物を育てるとともに、1階、2階、3階の教室では、よしずを使用しました。これらは日差しを遮って、教室を涼しくするのに役立ちました。電気エネルギーなしに室内の温度を下げるので、地球温暖化防止の効果も期待できます。

来年度も、緑のカーテンを育て、より一層校内の緑化活動を推進していきたいです。

2 リサイクル活動 ○ペットボトルキャップの回収

環境委員会が中心となって、毎月1日と15日にペットボトルキャップの回収を行っています。今年度から、区長さんを通じて、地域にもお願いし、南陽台地区全体の取組として活動の場を拡大しています。

回収されたペットボトルキャップは業者へ引き渡されて、プラスチックとして再利用されます。その売上金は、発展途上国の子どもたちへの各種ワクチン接種等の費用として利用されています。

